

ショーン ヨリガン



私が見た北秋田

Kitaakita from My Eyes NO.15

「北秋田の先輩」

8月に新しいALT(外国語指導助手)3人が、北秋田市に着任し歓迎しました。市民の皆さんとお会いする機会はあったでしょうか?私も8月で、北秋田市に住んで8年目に入りました。

今回の写真は、私が北秋田に住んで1年目の秋に、北欧の杜でフリスビーゴルフを楽しんでいる姿です。この写真を撮ってくれたのは、鷹巣中学校に勤務していた先輩のALT。彼からこの地域のこと



について、いろいろと教わったことが印象深く思い出として残っています。その先輩から紹介してもらった、北欧の杜で開かれた運動会の二人三脚競技に、2人で出場して1位になったこともありました!(ちゃんと競争相手がたくさんいましたよ!)

先輩は数年前に帰国しましたが、今でも連絡を取り合っていて、北秋田の魅力を懐かしく振り返ってくれます。今度は私が先輩として、北秋田のいいところを、新しいALTにたくさん紹介したいです。いずれ帰国する方が多いと思われるので、きっと世界に北秋田が羽ばたく...!(今回はたまたま、皆がアメリカ出身なので、まあ、せめてアメリカで羽ばたきますかね!)



有事に備え本番さながらに

秋田県消防協会大館北秋田支部総合防災訓練

秋田県消防協会大館北秋田支部総合防災訓練が、8月27日に鷹巣地区一円および北秋田市民病院で実施され、地域住民や消防団員、関係団体など約400人が参加し、防災防ぎょ訓練や避難所開設運営訓練などが本番さながらに行われました。

消防団の連携で火災を鎮圧
花園町・宮前町・東横町では、地区一帯で火災が発生したことを想定した「大規模火災防ぎょ訓練」を実施。通報、初期消火を行ったほか、ポンプ車など15台の消防車が地区内に配置され、各消防団が連携して、水幕ホースから放水し、延焼をくい止めたほか、複数の火元に一斉放水し、大規模火災を鎮圧しました。

住民が協力して避難所運営
市民ふれあいプラザでは、避難所が開設されたことを想定し、住民の皆さんが町内会ごとに、それぞれ役割を分担し、住民が主体となった避難所運営を行いました。さらに、多目的ホールの一角では住民が協力して、段ボールを組み合わせて避難者の居住スペースを設営し、支援物資の搬入を行うなど、本番さながらの訓練を展開しました。

また、北秋田市民病院では災害医療救護訓練が、市建設課作業場(高村岱)では土砂災害救出訓練が実施されました。



1 大規模火災防ぎょ訓練 2 段ボールで居住スペースを設営 3 避難者の受付 4 救護所を開設
5 災害伝言ダイヤル体験 6 火災時の煙体験 7 災害医療救護訓練 8 土砂災害救出訓練

きらっとヒカル 北秋田の企業 Vol.6

合川精密株式会社



【会社概要】
◆所在地 北秋田市川井字松石殿 1-343
◆主な事業 腕時計部品製造(カレンダー組立・印刷)
◆従業員数 44人
◆電話番号 0186-78-4177



自動印刷工程



手動印刷工程

若手社員 の声



佐藤 菜々子さん(18)

何をしている会社?

私たちの会社は合川地区にある、腕時計部品の製造会社で、親会社はシチズン時計マニュファクチャリング株式会社(本社:埼玉県所沢市)です。主には腕時計の中に入っているカレンダー部品の組立、印刷工程が主流で、精密かつ繊細な作業を従業員一体で日夜努力しています。

会社のアピールポイントは?

会社設立は1988年ですので、来年で30年を迎えます。若い従業員も多く、日々活気に満ち溢れた生産活動を行い、お客様からの信頼確保、地域に密着した会社運営、また地球環境に優しい企業活動をグループ会社全体で取り組んでいます。

入社して4ヶ月。まだまだ未熟ですが腕時計部品の生産を担当しています。覚える事がたくさんあり充実した日々を送っています。早く一人前になり、会社の力になれるように、今後も頑張っていきます。